

資料 1 環境教育と野外活動

環境教育とは

・スカウト環境行動スローガン

1. 緑の大地を守り育てます。
2. かけがえのない水と空気を汚さないようにします。
3. 全ての動植物の命を大切にします。
4. 限りある資源の節約とリサイクルにつとめます。
5. 地球にやさしい野外活動を実践します。

・世界環境保護バッジ

目的：スカウトの環境への関心と環境保護活動への積極的な参加を促すこと。地域社会に向けて、スカウト運動が環境保護活動に積極的に参加している意思を明示すること。

取得方法：隊長の裁量で認めたいいくつかの実践活動への参加により取得する。

環境教育への取り組み

1. 日常生活の中でできること

ゴミを減らす工夫、ゴミのリサイクル。車をなるべく使わない。省エネルギー。

2. 野外活動の中で工夫すること

「地球にやさしいキャンプ」(Low Impact Camping for the Earth) の実践

- ・穴を掘る...常設のキャンプ場以外では、テントの側溝は掘らず、1カ所に長期に固定して設営しないことが望ましい。ゴミ穴、トイレの穴は最小限として、環境を汚染しないように注意を払う。穴は必ず埋め戻す。
- ・火を焚く...かまどやキャンプファイアーは直火を避け、地中の微生物を保護する。薪による焚き火が全ていけないのではなく、立ちかまど型にすればよい。
- ・ゴミを捨てる...ゴミを減らす。ゴミは分別し、リサイクルを心がける。焼却による有毒物の発生、洗剤による環境汚染などに配慮する。
- ・省エネルギー・省資源...荷物や資材は最小限とし、なるべく車は使わない。エネルギーを節約して質素な生活をする。
- ・自然を保護し、キャンプ前の状態に戻す。**残すものは感謝のみ。**

3. 地球規模の問題を学習する

地球温暖化、オゾンホール、森林伐採、ダイオキシンなどの問題。

B - P の言葉

- ・この世の中を、君が受け継いだ時より、少しでもよくしてあとに残すように努力したなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生をむだにしないで最善を尽くしたのだという満足感で、幸福に死ぬことができる。(B - P最後のメッセージより)

資料2 地区からの情報

1. 地区円卓会が7 / 1 (木) 19:00 ~ 21:00 に乗泉寺スカウト会室で開かれました。

B S 部門

・ B S 部門参加者・・・5 団杉山、鈴木樹、戸張、柏木昭、木下、9 団武田、10 団平賀、13 団長谷川、14 団安海、河井地区委員長。以上10名でした。

B S 合同訓練反省会

- ・ 3 班が道を迷うという予想外の展開になったことについて。スカウトへの指示をもっと細かくするべきだった。「命のつな」を用意していたが、配るのを忘れた。
- ・ 逆コースをとった班がいたのも、スカウトへの指示が不十分だったため。
- ・ スタッフがみんなで協力してやっていく体勢は良かった。
- ・ 制服の下に T シャツを着るのがよいのではないか。

今後の地区行事について

- ・ 「渋谷地区班対抗選手権大会 (仮称)」の提案があり、参加した5、9、13、14 団の賛同を得た。また10 団も基本的に賛成とのこと。

1. 地区 G B T と地区ラリーを合わせて、1 ヶ月分のプログラムのサイクルを地区全体で合同で行う。
2. 技能テーマを円卓会で決定し、各班は参加エントリーを行う。班紹介の冊子を作る。
3. 地区 G B T を行い、各班の G B を訓練するとともに、G B によるプログラム会議を行う。
4. 各班 (つまり各団) で班集会を2 - 3 回開く。
5. 地区ラリーを行い、班対抗競技の中で各班の活動・訓練の成果を発揮させる。
6. 1 ヶ月分の班競争を集計し、地区最優秀班を決定して表彰する。
7. 地区最優秀班のワッペンを1 年間つけるなど、スカウトのプライドを刺激する賞品を考える。

全体会

- ・ 新年度地区副コミッショナー (予定)・・・地区コミ: 安海(14)、B V S: 畔田(2)、C S: 高橋(6)、B S: 木下(5)、V S: 武山(10)、R S: 金子(14)、団担当: 梶井(5)

B S 部門懇親会

- ・ 合同訓練の慰労会および親睦を兼ねて、円卓終了後、酒蔵「しら岩」にて懇親会を開いた。
- ・ 参加者は、河井地区委員長、5 団杉山、鈴木樹、戸張、柏木直 (C S) 木下、13 団長谷川、14 団安海の8名でした。

2. 地区委員会が7 / 15 (木) 19:00 ~ 20:00 に乗泉寺スカウト室で開かれました。

地区委員長より

- ・ 地区コミ・副コミは2 年後までに実修所修了のこと。研修所等の奉仕実績があること。
- ・ 杉原総コミッショナーより野外活動の安全の確保を行うための資料配付。スカウトの前での飲酒・喫煙の自粛の要請。

各委員長・コミグループより

- ・ 進歩委員長より・・・技能章考査員名簿の用紙が違ったため、突っ返された団があった。
- ・ B V S・・・ピーパー・カブラリーの会場は夢の島公園を検討中。
- ・ B S・・・サマーキャンプの参加者は10 団3 名、14 団2 名の計5 名。引率指導者は10 団

武山さん。スタッフとして、5 団木下、3 団村上。

- ・ R S . . . R S 代表者会議の参加者は、國學院 2 名、5 団柏木、1 4 団只野の計 4 名。1 0 0 キロハイクは予定通り実施するが、昨年はスタッフが 5 0 名と多すぎた。

スカウトの日実施要項

- ・ 期日 . . . 平成 1 1 年 9 月 1 5 日 (水) 祝日
- ・ 主催 . . . ボーイスカウト渋谷地区協議会、共催 . . . 渋谷区教育委員会
- ・ テーマ . . . スカウトカントリー大作戦
- ・ 活動内容 . . . 空缶の回収・リサイクル
- ・ 実施方法 . . . 参加スカウト・指導者は自分たちで回収した空缶をまとめて当日に持ち寄る。
- ・ 集合 . . . 午前 1 0 時 0 0 分 渋谷区役所駐車場、解散 . . . 午前 1 1 時 0 0 分 同左
- ・ 服装 . . . カブスカウト以上、指導者は全員地区ネッカチーフ着用のこと
- ・ タイムスケジュール
 - 8 : 0 0 空缶受付開始
 - 1 0 : 0 0 スカウト集合完了
 - セレモニー
 - 1 0 : 3 0 ゲーム (リサイクルに関するもの)
 - 1 1 : 0 0 解散

4 . **コミッショナー会議**が 7 / 1 5 (木) 2 0 : 3 0 ~ 2 2 : 0 0 に乗泉寺スカウト室で開かれました。

来年度 (平成 1 2 年度) 予算案について

- ・ 来年は V S 部門の日本ベンチャーに 4 0 万円。V S 部門の行事は救急法講習会と技能講習キャンプのみ。
- ・ R S 部門で新規にローバーフォーラムを計画する。

5 . **地区協議会**が 7 / 2 2 (木) 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0 に乗泉寺スカウト室で開かれました。

各委員長からの連絡

- ・ 野営行事 . . . 9 / 2 5 東京子供フェスティバル、1 0 / 1 0 銀座祭りパレードに地区より 1 0 名、1 0 / 1 5 パレード警備奉仕

コミッショナーからの連絡

- ・ 2 0 0 0 日本ベンチャーで東京連盟がサバイバルのテーマを企画中。
- ・ 9 / 1 5、1 1 / 3 の地区行事には多数の参加をお願いしたい。
- ・ 地区トレーニングチームを秋からスタートする予定 (ディレクター 5 団田中隆氏)。
- ・ 研修所修了者 V S 課程、3 団村上、伊藤。
- ・ ビーバー隊のキャンプは日本連盟では認めていない。

新規団の申請について

- ・ 港 1 2 団から別れた指導者を中心にした新規団の申請。
- ・ スカウトは B S 6 名、V S 3 名など。
- ・ 主な活動場所は代々木公園、団本部は渋谷区上原を予定。
- ・ 7 / 2 0 にヒアリングを行った。
- ・ 9 月の地区協議会で審議するので、それまでに各団で討議して欲しい。